
何事にもへこたれない！

篠原

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

何事にもへこたれない！

【Zコード】

Z0772E

【作者名】

篠原

【あらすじ】

ある朝、薫はよい天気に恵まれたことに喜びを感じていたのだが、それもつかの間。それと同時に嵐もやってきた。

今日は、いい天気。

朝起きてまず最初に思ったのがそのこと。

いつもの習慣でカーテンを開けると、最近では珍しい快晴だつた。思わず窓を開けると、暑すぎず冷たすぎず、ぽかぽかとした陽気が照らす。

そんな春の日差しを受けながらつらつらと今日の予定を組み替える。まず、布団を干して、その後洗濯機を回して洗濯物を干そう！ その後は・・・

そうかなり主婦じみた事を考えていると、突然部屋のドアが開いた。

「薰ー！ これ30部コピーしといで！！」

「薰ー！ カップどこいった！？ 僕のm y カップ！！」

「かーおーるーちゃん！ ケーキ買つてきたんだけどさ、紅茶入れてよー。薰ちゃんの紅茶だーいすきッvvv」

そこにいたのは、ある意味嵐ともいえる存在だった。

また来たか・・・と思いつつ（わざと）大きなため息をついて、ゆっくりとその騒がしい三人衆の方を見ると。あきれ顔で

「あのねえ・・・そんな一邊に言われても俺は一人なんだから・・・無理に決まつてんじやん」

「「「大丈夫だよーー！」」」

そういうが、見事なハモリで返される。

「これ30部『Pマーク』してある間カツプを探して、そしてついでに紅茶を入れて、終わったら『Pマーク』が終わってるから（たぶん）」

「あのなあ・・・俺は未来から来た万能ネコ型ロボットじゃないんだから、ンなの無理に決まつてんじゃねえか。大体、」

そんなかなりむちやくちゃなこと言われても・・・

てか、その『お前ならきつとわかる』『こいつにこやかな笑みをされても・・・滅茶苦茶腹立つんですが。いつそのこと殴つていいですか？』

「頼むよ薰～。俺これからすぐ次の資料作成に取り掛からなきゃいけねえんだよ～」

「それなら僕だつて。あの『Pマーク』じゃないとダメなんだよ・・・仕事できない！！」

「ワタシだつて。薰ちゃんの入れた紅茶じやないとダメー・・・」

そつ言つて三人は、窓際にいた俺に詰め寄る。

落ちるッ！――

まあどうせ言つても聞かないか・・・

しょりがない。

「あーハイハイ。こなして見せますよーがんばります！―ほら、その紙よこせーお前はとつとと執務室に帰れ！後で持つてつてやるから。後、紅茶入れるから休んでて」

そつテキパキ動き、要件を言い終わるととつとと部屋から追い出す。

「こんなに早くいたるまい、おれは弱くない！」

「今日もがんばつますか」

(後書き)

家にもこんな人ほしいです。
そんな思いをこめて書きました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0772e/>

何事にもへこたれない！

2011年1月29日14時33分発行